



2018年5月

京都保健会新入職員のみなさんへ



公益社団法人
京都保健会 理事長
吉中文志

新入職員のみなさん、ご入職おめでとうございます。晴れて社会人になられた方も多いと思います。歓迎のあいさつを述べさせていただきます。

京都保健会は1956年に発足し医療や介護、教育などの幅広い事業を行ってきました。現在ではこれらのサービスを提供する京都府内で最大の公益社団法人に成長しています。社会的に困難にある人々に寄り添い、個人の尊厳と権利を大切にしながら、医療や介護、予防と健康増進、教育などのサービスを提供することを使命としています。

同時に、地域づくりを進めていくことを重視し、研究や社会的な発信を重視しています。わが国では格差と貧困が少子高齢化社会を直撃していますが、この状況は京都府にあっても例外ではありません。医療や介護、予防と健康増進、教育が深刻な社会問題となっております。京都保健会の役割はますます大切なものになってきていると

自覚しています。



2018年度は京都保健会の基幹病院である京都市民医連連中のリニューアル事業、具体的には南太秦の土地での新病院建設が始まる年にあたります。すでに、建設業者の選定や銀行交



渉を終え工事が安全かつ確実に進むよう準備を整えているところであります。来年秋には新病院へ移転する計画です。先日も新任の右京区副区長さんがわざわざあいさつにお見えになりました。期待の大きさがわかります。しっかりと受け止めて計画を進めたいと思います。

京都保健会中期計画 (Kyoto Health Association 2020/2025) では少子高齢化社会を見据えて三つの重点計画を立てています。第一が地域医療や介護、保健予防・健康づくり、教育などサービス提供を幅広く行

うことです。地域包括ケア支援を重視しています。第二に、地域で医療や介護をはじめとする連携を強める役割です。私たちは地域の一員として活動することによって地域づくりに貢献します。第三に、定款第4条の1.にある研究所(京都保健会社会健康医療福祉研究所 仮称)を設置します。京都大学社会健康医学系との共同研究などを進め、国内外へ発信したいと思えます。

中央病院のリニューアルは京都保健会中期計画のための最大事業です。新たな中央病院では医療機能を高め、介護や保健予防を支援し、職員の専門職能教育を飛躍させる予定です。これによって京都保健会の医療や介護の質を高めていきます。

新入職員のみなさんが豊かな人間関係に恵まれ、能力を延ばすことができ、京都保健会に就職してよかったと実感していただけるよう、法人としても支援に努めたいと思います。みなさんへの期待を込めて歓迎のあいさついたします。

